

### 診療情報共有の 利点や現状紹介

医療関係者の  
県庁でシム  
かかりつけ医と病院  
患者が情報共有するシ  
システムを提唱する「群馬  
県の診療情報連携シム  
システムが9日、県庁で  
開かれ、医療機関、通信  
・医療機器メーカーなど  
から10人が参加した。  
シムシステムは、群馬  
附属病院とNPO法人  
「地域診療情報連携協議  
会」(滝沢清美理事長)  
が主催。本年度に予定し  
ている共同研究の内容を  
紹介し、参加を呼び掛け  
るが目的。  
医師、大学教授、機関  
助産業として昨年度から  
スタート。来年度の運用  
開始を目指している。

理事長が参加してパネ  
ルディスカッションを实  
施。研究中の「電子紹介  
状」による病院と診療所  
の連携例を解説しなが  
ら、シムシステム画面など  
が共有できる利点を紹  
介。ネット利用の問題点  
も検討された。

また、富岡大学附属病  
院医療情報部の鈴木吉生  
助教授が講演。富岡県で  
システムを提唱する「群馬  
県の診療情報連携シム  
システムが9日、県庁で  
開かれ、医療機関、通信  
・医療機器メーカーなど  
から10人が参加した。

関心だけでなく広く企業、  
市民に研究協力しても  
らうことで、地域の健康  
づくりの面でもシステム  
を活用できるようにした  
ことが主眼。本年度に予定し  
ている共同研究の内容を  
紹介し、参加を呼び掛け  
るが目的。



新しい地域医療のあり  
方を提唱した「診療情  
報連携シムシステム」